

平成20年度 第88回 教育研究審議会議事要録

日時 平成20年12月9日(火) 13:30~15:30
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、稲月学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、晴山都市政策研究所長、赤塚学術情報総合センター長、田村入試センター長、吉塚地域貢献室長

- 配布資料**
- 1 教員採用選考報告書(外国語学部)
 - 2 副学長の選任について
 - 3 北方キャンパスにおける任期制教員の再任審査について
 - 4-1 学部長等の選考に関する規程の一部改正について(案)
 - 4-2 平成21年度学部長等選考スケジュール(案)
 - 5-1 セクシュアル・ハラスメントの防止に関する関連規程等の改正について
 - 5-2 リーフレット: NO!セクシュアル・ハラスメント
 - 6 関門地域の大学間連携による単位互換包括協定の締結について
 - 7 動物実験概略図及び北九州市立大学動物実験規程(案)
 - 8 2009年度学年暦(案)
 - 9 平成20年度学生表彰候補者申請(推薦)書の受付について
 - 10 北九州市立大学入試直前相談会について

(冒頭、第87回教育研究審議会議事録(案)について確認。)

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、外国語学部中国学科専任教員について、選考委員会から採用候補者(金縄 初美氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 副学長の選任について

* 資料2のとおり、学長から副学長の選任について提案。

- 近藤 倫明氏、松藤 泰典氏、中野 博文氏の3名を再任し、任期は、平成21年4月1日から平成23年3月31日までの2年間とする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 北方キャンパスにおける任期制教員の再任審査について

* 資料3のとおり、北方キャンパスにおける任期制教員の再任審査基準について、任期制教員が所属する組織の長等で構成する検討委員会で作成することを提案。

- 社会システム研究科長は、再任審査の対象となるため、学長が同研究科の中から委員を指名するものとする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 学部長等の選考に関する規程の一部改正について

* 資料4-1及び4-2のとおり、地域創生学群の設置に伴い、学部長等の選考に関する規程の一部改正について提案。

- 第2回目以降は他学部と同じ方法によるが、最初の地域創生学群長は、教育研究審議会の議を経て学長が選考する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第5号 セクシュアル・ハラスメントの防止に関する関連規程等の改正について

* 資料5-1及び5-2のとおり、セクシュアル・ハラスメントの防止に関する関連規程等の改正について提案。

- 協議会規程第3条第1項第5号の「その他学長が指名する者」は、複数名か。また、指名にあたっては、学生教育の責任者として教務部長の参画が必要と考える。
- 協議会として、必要となる人材を指名できるものと理解している。複数名になることもある。
- 協議会規程と防止規程の第1条にある「人権又はハラスメントに起因する問題が生じた場合」との表現は、人権であれば「人権に起因する問題が生じた場合」と読めるので修正してはどうか。
- 「人権」を「人権侵害」に改めるものとする。
- 防止規程第3条にある「ハラスメントをしないようにしなければならない」との表現は、「ハラスメントをしてはならない」と、分かりやすくなるよう修正すべきではないか。
- そのように改めるものとする。
- 防止規程第6条第1項にある「その他職務上の関係者となった者」とは、誰を想定しているのか。
- 当該問題に関連する事務を行う職員等を想定したものである。

【議長】委員から指摘のあった2点を修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第6号 関門地域の大学間連携による単位互換包括協定の締結について

* 資料6のとおり、関門地域の大学間連携による単位互換包括協定の締結と大学コンソーシアム関門への参加について提案。

- 大学コンソーシアムの概要資料には、教養教育の共同実施と書かれているが、規約の目的にはこの文言がない。今後は専門教育まで範囲を広げていく考えからなのか。
- まずは、教養科目の単位互換から始めていく。再来年度以降の開講科目等については、互恵の考え方に立ち、参加大学で協議して、決めていくことにしている。この決定にあたっては、関係の学部、基盤教育センターの合意が必要だと考えている。
- 平成21年度の開講科目については、各学部で読み替えの作業が生じるのか。
- 基盤教育科目の教養科目で読み替えることにしている。
- GPAの処理はどうなるのか。
- 科目提供大学から送られる素点を本学の成績評価に換算することにしている。
- 教室は無償で提供されるのか。
- 1/2減額での使用料で大学コンソーシアム関門が借用する。

- 設備の破損や学生に事故があった場合の賠償責任などはどうなるのか。
- 教員の労災等を含め大学コンソーシアム関門の運営委員会で対応を決定する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第7号 北九州市立大学動物実験規程の新設について

* 資料7のとおり、北九州市立大学動物実験規程の新設について提案。

- 本学の動物実験は、九州工業大学の実験設備を使用して行っており、施設利用者として適正な動物実験を行うために規程の整備を行うものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第8号 平成21年度学年暦について

* 資料8のとおり、平成21年度学年暦について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 学生表彰受付について、資料9のとおり報告があった。
- ② 北九州市立大学入試直前相談会について、資料10のとおり報告があった。
- ③ 平成21年度国際環境工学部環境生命工学科の推薦入学基礎学力テストの出題ミスについて報告があった。
 - 信頼回復に向け、抜本的にチェック体制を見直し、今後このようなことのないよう万全の対策をとってもらいたい。
- ④ 新学長の選考結果について、学長選考会議から報告があった。
 - 学長候補者が1名であったことから、選考結果の公表にあたり、選考会議の意見として3点の要望事項を付した。要望の1点目と2点目は、候補者の所信表明の中で、現中期計画の実行と次期中期計画の準備を重点課題として挙げていることから付したものである。3点目は、再任となり6年の長期任期となることから、配慮すべき事項として付したものである。
 - 評価基準を3点示しながら、選考理由の中では、これに対する意見が示されておらず、内容が不十分だとの印象を持っている。
 - 評価基準については、具体的な要素について選考会議において定めるとともに、個別の評価について公表しないこととしている。選考結果の公表内容は、他の大学と変わらないものであり、理解願いたい。
 - 候補者の業績を評価し、選考会議としての価値判断を示してもらいたかった。また、要望の3点目については、現場の意向を汲んだ意思決定によって、法人化の狙いであるトップの強いリーダーシップの発揮を損なうものでないことを確認したい。
 - 3点目の要望は、当初任期4年間を経過した上での再任という観点から、記載されたものと理解願いたい。
- ⑤ 次回の審議会を12月24日（水）に開催する予定である旨、報告があった。